

シリーズランドローバー（1948-1974）

シリーズランドローバーは、ショートホイールベースとロングホイールベースの2つの基本タイプに分けられます。88インチ

またはショートホイールベースと109インチまたはロングホイールベースです。数字（88と109）はホイールベースのインチ数を表します。80、86、107 モデルも存在しました。詳細はシリーズIのセクションを参照してください。ショートホイールベースまたは88インチランドローバーロング ホイールベースまたは109インチランドローバー 88インチまたはショートホイールベースランドローバー（「レギュラー」ランドローバーとも呼ばれる）は、当時米国で最も一般的でした。ボルト、その他の部品、ルーフセクションをいくつか変更するだけで、かなり多くの異なるローバーになる可能性があります。88インチモデルではすべてのルーフが交換可能でした。ルーフが全くないもありました。ドアトップ（窓部分）もドアからボルトで外すことができ、フロントガラスを折りたたんで「フラットトップ」のランドローバーにすることもできます。88はソフトトップにもなり、サイドカーテンを巻き上げてより開放的なドライブを楽しむこともできます。ホイールベースの短いランドローバーは、ハーフキャブ（ピックアップトラックの荷台）としても使用できます。88には様々なフルハードトップが用意されていました。サイドウィンドウのないフルルーフや、固定サイドウィンドウ付きのフルルーフも選択できました。固定サイドウィンドウの88の多くは、分割式テールゲートとリフトゲートの組み合わせでした。これらの部品は、現在では良好な状態で入手困難です。すべてのフルハードトップ88は、リアドアを装備することも、テールゲートとリフトゲートの両方を装備することもできました。88はステーションワゴンとして最もよく知られています。このモデルはトロピカルトップと、デラックスボンネット（ボンネット）や16インチホイールなどのオプションを組み合わせた「ステーションワゴン」と呼ばれるパッケージでした。ステーションワゴンパッケージの一部であるリアドアのみが用意されていました。このページを頻繁にご覧になる方は、「サファリ・ステーションワゴン」という表記が削除されていることにお気づきかもしれません。米国では一般的に「サファリワゴン」として知られていますが、この名称の由来について、最近、正当な疑問が投げかけられています。販売資料には「サファリ」という言葉は一切なく、ランドローバーが醸し出す探検／サファリのイメージを好むファンが後から付け加えた可能性があり、厳密には正しくないかもしれません。正しい名称は単にステーションワゴンです。シリーズIII 88トップなし シリーズIIA 88ソフトトップ（またはフルティルト） シリーズIIA 88フルハードトップ（英国で撮影） シリーズIIA 88ハーフキャブ（固定窓サイドハードトップ、背景にテールゲート／リフトゲートを備えたシリーズIIA 88） ランドローバーの販売1960年代初期の 88（レギュラー）のパンフレットはこんな感じでした...







シリーズIIA 88ステーションワゴン
標準（または88）ステーションワゴンの販売パンフレットはこんな感じでした…
（なぜか、大きな画像の88ステーションワゴンのドアには垂鉛メッキのトリムがありません）

THE LAND-ROVER REGULAR STATION WAGON



As an alternative passenger or goods-carrying vehicle the seven-seater Land-Rover Regular Station Wagon has tremendous appeal in countries where rough and studding conditions are likely to be met. As a passenger carrier it will accommodate three people in front and four in the rear room in the rear compartment. With the seats folded up ample load space is available for the transport of goods and equipment of all kinds.

The body is easily accessible from the rear of the vehicle.



109（別名「ロング」ランドローバー）にも多くのバリエーションがありました。2ドアまたは4ドアバージョンが製造されました。2ドアバージョンは、88と同じルーフの組み合わせが多数用意されていました。ルーフなしの「フラットトップ」、ソフトトップ、窓なしのフルハードトップ、固定窓のフルハードトップ、ハーフキャブなどです。一般的に3ドアと呼ばれる109は非常に柔軟性の高い車両です。109は米国でピックアップトラックとしてよく販売されていましたが、販売台数は多くありませんでした。フルハードトップバージョンは希少で、ごく少数しか販売されなかったはずです。長年にわたり、3ドアの109が英国から数多く輸入され、ECRが輸入した下の緑のランドローバーのように、現在アメリカで活躍しています。109の4ドアモデルもステーションワゴンと呼ばれていました。これは一般的に5ドアと呼ばれていました。109ステーションワゴンは、中央のドアを支えていたため、ルーフを取り外すことができませんでした。



シリーズIIA 109フルハードトップ。



シリーズIIA 109ハーフキャブ（ピックアップ）

1960年代初頭の「ロングランドローバー」の販売資料は、以下のようになっていました…

Three-quarter length hood with side windows for export

Full length canvas hood

THE LONG LAND-ROVER

Three-quarter length hood

Long hood-up with side windows for export

LAND-ROVER

The Long Land-Rover is stocked open from in shown here. Various body covers are available as optional extras.



シリーズIIA 109 NADAステーションワゴンステーションワゴン
パッケージは、88と109の両方で利用可能でした。この車の主な特徴はトロピカルト

ップでした。ルーフにはサンシールドと、車内外の空気を取り込むための4つの通気口がありました。また、トレードマークである「アルパインウィンドウ」も備えており、後部座席の乗員は視界が広く、より多くの光を取り込むことができました。88ステーションワゴンは、後部荷室に4つの独立したジャンプシートを備えていたため、7人乗りランドローバーと呼ばれることもありましたが、109サファリワゴンには、10人乗りと12人乗りの2つのバージョンがありました。違いは、荷室のジャンプシートと中央のシートの長さでした。12人の乗客を収容するために、より長いベンチジャンプシートも用意されていました。ステーションワゴンには、デラックスボンネット、油圧/水温計のデュアルメーター、バルクヘッドベントの虫よけスクリーン、そして16インチホイールも装備されていました。上記のオプションに加え、前後の楕円形のランドローバーロゴの下に「4輪駆動ステーションワゴン」と書かれたバッジが追加されていることで、他のランドローバーと区別できます。ステーションワゴンパッケージの生産は、1968年頃に後期型IIAシリーズが導入された際に終了しました。トロピカルトップ（この場合は88）のルーフベント



ロング（109）ステーションワゴンの販売パンフレットはこんな感じでした…（これは10人乗りモデルです。12人乗りバージョンはアメリカに輸入されることは極めて稀でした（そもそも輸入されたことさえありませんでした））。



ユニークな12人乗りのインテリア（後部ジャンプシートが長く、中央のシートが「セクション分け」されている）はこんな感じでした…



ごく少数がアメリカに輸入された珍しい109は、ランドローバー・ドーモービルです。フランス語で「寝台車」を意味するこのキャンピングカー改造車は、英国のマーティン・ウォルター社製で、フォルクスワーゲン・ウェストファリアのキャンピングカーに似ています。カスタムメイドで、注文に応じて製作されたため、特定の構成を「事実」とすることはできません。最も一般的なモデルは5ドアワゴンで、ポップアップルーフ、4人掛けの二段ベッド、荷室の片側にシンク／コンロ、反対側に吊り下げクローゼットが備わっています。1967年までにディーラーによって輸入されたのは200台未満で、生産されたのは500台未満とされています。



The world's most versatile vehicle

この画像は、1960年代初頭のオリジナル販売パンフレットの表紙です。



シリーズIIA 109 ランドローバー ドーモービル（マーティンウォルター社のドーモービルは、「ドーモービル」と書かれたフェンダーバッジ、折りたたみ式の車内シートと装備、折りたたみ式のルーフ部分で識別できます）。西欧の米国企業によって、やや似た88バージョンが製造されました。「X-Panda Cab

」と呼ばれ、88をベースに、就寝やキャンプ用のポップアップルーフを備えていました。この製品はディーラーを通じて販売されていましたが、現在では非常に希少です。シリーズIIA 88 X-Panda Cab ランドローバーについてさらに理解を深めるには、「シリーズ」について理解する必要があります。他の英国自動車メーカーと同様に、ランドローバーは米国の自動車メーカーのように毎年大幅な変更を加えることはありませんでした。その代わりに、大きな変更があった際にシリーズを更新していました。ランドローバーの製造年はそれほど重要ではなく、車両の外観、オプション、装備の変更を示すのはシリーズです。シリーズI（ローマ数字の1。通常はSIと略されます）はおおよそ1948年から1958年、シリーズII（SII）はおおよそ1958年から1961年、シリーズIIA（SIIA）はおおよそ1961年から1971年、シリーズIII（SIII）はおおよそ1971年から1974年です。シリーズランドローバーは1974年以降も世界中で販売され続けましたが、EPAやDOTなどの米国政府機関や、ラルフ・ネーダーなどの人々が、排気ガス、バンパー、その他の安全装置に関する新しい法律を制定しており、これらの新しい規制を満たすためのコスト要因により、ブリティッシュ・レイランドは北米市場から撤退せざるを得なくなりました。全体的にランドローバーは米国ではあまり売れませんでした。推定値では、北米全体でシリーズランドローバーは約17,000台しかありません。



[ローバーの歴史セクションに戻る](#)
[シリーズ情報セクションに戻る](#)
[目次に戻る](#)

イーストコーストローバー社
21 Tolman Road
Warren, ME 04864
メールアドレス: ecrover@midcoast.com